



大阪市立加美南中学校 保健室  
平成29年12月1日 NO10



【平成29年度「世界エイズデー」キャンペーン テーマ】

## UPDATE! エイズのイメージを変えよう!

AIDSに関する取組は今大きな転換期を迎えており、治療法の進歩により、HIV感染者の予後が改善された結果、HIV感染者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりAIDSの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、治療継続し体内のウイルス量が減少すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっておらず、HIV/AIDSについてはいまだに、「有効な治療のない死に至る病気」という認識のままの人もいます。差別や偏見もなくなっています。情報をUPDATE(更新)して、AIDSに対するイメージを変えることで「行動を変える」などにつなげるスタートラインになるようにこのテーマになっています。

### HIVとAIDSの違い

AIDSとは日本語で「後天性免疫不全症候群」といい、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染した結果、体の免疫力が低下し、さまざまな病気を発症するようになります。

つまり、HIVは【ウイルスの名前】、AIDSは【病気の名前】ということです。

### HIV感染からAIDS発症まで



感染から発症まで数か月～数年

感染

#### 感染初期

発熱、のどの痛み、倦怠感など  
風邪に似た症状（出ない人もいる）  
この時期は検査しても反応が出ない時期がある（ウインドウ期）

#### 無症状期

自覚症状がなく、少しづつ免疫力が衰えていきます。

#### AIDS発症期

健康であれば何でもない弱いウイルスや細菌に感染したり悪性腫瘍ができたりします。この状態がAIDSです。

### 感染経路

HIVの感染源になるのは精液、膣分泌液、血液、母乳です。



### 感染経路

性感染：性行為による感染

血液感染：注射器やピアッサーの使い回し等

母子感染：遺伝ではなく、出産や授乳時の感染

こんな事では  
感染しません！

- 握手やキス
- お風呂やプールに一緒にいる
- 同じ食器を使う
- 蚊などの動物・昆虫を介して

### 日本の現状・大阪市の現状

#### 平成28年 年間新規報告数

	HIV感染者	AIDS発症者
日本	1,011人	437人
大阪市	119人	31人

出典：厚生労働省 平成28年度エイズ発生動向調査

### 年齢区分

20歳未満	1.4%
20歳代	36.0%
30歳代	38.3%
40歳代	16.8%
50歳代	4.6%
60歳以上	2.9%

昨年1年間で新たに報告された人数と年齢別の表です。日本全体でみると、1日に約4人の感染者・発症者の報告があったということになります。また年齢をみてみると、20歳未満の人の感染報告があったことがわかります。学校や街の中でHIVに感染している人も、ともに生活しているということがわかります。

感染を防ぎ、感染を広げないために大切なことは「一人ひとりが正しい知識」を持ち、それを行動に結びつけることです。

現在の医療ではAIDSを完全に治すことはできません。しかし、感染を早期に発見し、適切な治療を受けることで発症を抑え、長期にわたって感染していない人と何も変わらない生活を送ることができます。「AIDS=死ぬ病気」ではありません。

### 困ったときは・・・

- あなた自身が信頼できると思う大人の人に相談しましょう。
- 地域の保健福祉センターにも相談窓口があるので、そこを活用してもいいです。誰でも相談することができ、秘密は守られます！

